



採点表

トータル 個人 75ポイント / 団体 90ポイント 審査員一名の最大配点

プロフェッショナリズム

8ポイント

備品の整頓と衛生 4ポイント

サウナ室内の整理整頓と清潔さ

- サウナ室内のタオルやバケツは整頓され、清潔であるか
- どこに何が置いてあるか、把握しているか
- 衛生ルールを守っているか（汗を拭く際に乾いたタオルを使用、など）

演技中の減点

- 備品を落とす
 - 危険な備品の使い方（火、ドライアイスなど。審査員間で協議の上、減点）
 - ショー最中のプロ意識のない行動
- 【減点】
- スクリプトの提出遅れ（1 点減点）
 - パフォーマンスのテーマ、使用するアロマなどの情報提供の遅れ（1 点減点）

パフォーマンス 4ポイント

カリスマ性とパフォーマンス

- 立ち居振るまい：観客とのアイコンタクトやつながり、声の大きさ、安全で制御されたパフォーマンス、自身の体調管理など

【減点】

- アウフグース後に横になるなど自身の体調や健康状態を崩している

時間的な減点

時間制限

- 演技時間：12 分～ 15 分
- サウナ室不在時間：最大 45 秒

【減点】

- 演技時間の超過 30 秒につき 1 点減点、2 分超過で失格
- 準備時間の超過、またはサウナ室不在時間の超過 30 秒につき 0.5 点減点

熱の上昇と配分

12ポイント

熱の上昇 6ポイント

パフォーマンス全体を通しての熱の上昇

- ショーが進むにつれて熱を上昇させているか
 - 最後に降り注ぐ熱気（ヒートシャワー）が届いたか
 - スタートから熱を上げすぎて、それ以上の上昇がないか
- 熱の快適性
- 熱すぎて退出する観客がいないか
 - 最後は寒すぎず、冷たいシャワーを浴びなくなるほど温度上昇したか

熱の配分 6ポイント

特にクラシックテクニクに関して

- クラシックテクニクで熱は感じられたか
- 熱の拡散は何回感じられたか
- 熱は全身で感じられたか、部分的ではなかったか
- 熱の拡散に勢いはあったか
- 観客に満遍なく熱を届け、隅々までの観客を忘れていないか

扇ぎのテクニク

15ポイント

クラシックテクニク 5ポイント

習得度

- クラシックテクニク（両手でタオルを振る技、ヘリコプター）を習得しているか
- タオルさばきのクオリティの高さ

スムーズな移行 2ポイント

スムーズな移行

- クラシックテクニクとショーテクニク間の移行はスムーズであるか

ショーテクニク 6ポイント

習得度

- （片手、両手、歩きながらの 2 枚のタオル、投げ、キャッチ、オーブンタオルなど）
- テクニクはストーリーの雰囲気合っているか
- タオルさばきのクオリティの高さ

減点

【減点】

- タオルを落とす度に 0.5 点減点
- 落としたタオルを使用する度に 0.5 点減点
- ※落としたタオルを再度使うことは、プロ意識の欠如、不衛生な行為とみなす

音楽との調和 2ポイント

- ストーリーにあった感情で届いているか
- タオルの振りは、音楽の雰囲気やリズムに合っているか

香りの使い方と量

10ポイント

香りの認識 4ポイント

- 最低でも 3 種類の天然アロマを認識できるか（エッセンシャルオイル、お香、煙など）
- 審査員の好みではなく、香りの強さを判断
- 自然に心地よく香るか、香りが過剰に強すぎないか

水と氷の使用 3ポイント

水や氷、香りを適切に使っているか

【減点】

- 不衛生または安全ではない水、氷、アロマの使い方

創造性とクオリティ 3ポイント

- テーマにあった香りであるか
- 特別な組み合わせであるか
- 創造性のある香りの使い方をしてるか
- 創造した香りがシーンや雰囲気合っているか

減点

【減点】

- 人工的な製品の使用は最大 5 点減点
- 審査員は個人的な嗜好による審査はしない

テーマとショーの構成

30ポイント

ショーの構成とストーリー展開 8ポイント

ショーのクオリティ

- 国際的に誰もが理解できるストーリーであるか
- テーマ全体は明確に理解しやすいか
- テーマに一貫性があり、ビジョンがショー全体を通して保たれているか
- キャラクターは作り込まれているか
- ストーリー展開は盛り上がりつつあるものになっているか

オープニング・クロージング 2ポイント

- プロ意識を持ち、印象的なショーの始まりと終わりだったか
- 始まりと終わりは明確であったか
- 拍手の際にはサウナ室に留まり、観客を外で見送ったか

雰囲気 5ポイント

- 観客の心をつかんだか
- 観客の注意を持続させているか、それとも一時的なものか
- 特定の観客の盛り上げによって作られた雰囲気に注意すること

創造性と革新性 3ポイント

- ショーは新しく、革新的で、独創的だったか
- 映画や本、既存の物語の一部や模倣ではないか
- 過去のアウフグースの焼き直しではないか
- アウフグースマスター独自の創造的な工夫はあるか

舞台小道具・衣装の要素 4ポイント

ショーの要素が明確でテーマに合っているか

- 使用した衣装、装飾、道具のクオリティの高さ
- 用意したものはすべて使い、ショーにおいて意味がある役割を果たしているか
- 数ではなくクオリティが重要

音響、照明、視覚効果 4ポイント

音質 / 音量・吹き替え・照明

- 照明は効果的だったか
- 視覚効果演出（ドライアイス、火、特殊効果など）のクオリティと使い方はどうか
- 視覚効果演出などはストーリーを盛り上げていたか
- 音はきれいに聞こえ、音量もバランスが取れていたか

演技力 4ポイント

演技のクオリティ

- 始まりから終わりまで、そのキャラクターになりきっているか
- リアリティのある演技か
- 演技はショーを盛り上げていたか

チームスピリッツ

15ポイント

ハーモニー（調和） 3ポイント

- タオル技術などメンバー間の違いがあっても調和が取れているか
- メンバー全員がちゃんと役割を担っているか

シンクロ（同調） 4ポイント

- テクニクやアウフグースなど一緒に行う部分でのシンクロができているか

意思疎通 4ポイント

- タオルの投げ・受け渡し、小道具の受け渡しの意思疎通はスムーズにできているか

振付 4ポイント

- サウナ室の空間を効果的に使っているか
- ステップや動きは、音楽やリズムに適切に合っているか